授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定３級合格を目標とする
教科書	問題集、プリント、模擬試験
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 2 熟語① 3 熟語② 4 異字同訓・同音異義 5 誤字訂正 6 項目別模擬試験① 7 項目別模擬試験② 8 項目別模擬試験③ 9 項目別模擬試験④ 10 項目別模擬試験⑤ 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	面接時の入退室及び自己ＰＲを習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己ＰＲ作成① 5 自己ＰＲ作成② 6 自己ＰＲ作成③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 業界研究① 11 業界研究② 12 模擬面接練習① 13 模擬面接練習② 14 面接効果測定① 15 面接効果測定②
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション概論
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	自己分析、自己ＰＲの作成を通じての対人コミュニケーションを学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	自己分析、自己ＰＲの完成及び発表を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 自己ＰＲの見直し 2 自己分析の方法・注意点 3 自己分析① 4 自己分析② 5 自己分析③ 6 自己ＰＲの作り方 7 自己ＰＲの作成① 8 自己ＰＲの作成② 9 自己ＰＲの作成③ 10 自己ＰＲの作成④ 11 自己ＰＲの作成⑤ 12 自己ＰＲの修正① 13 自己ＰＲの修正② 14 自己ＰＲ発表（効果測定①） 15 自己ＰＲ発表（効果測定②）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	エアロビクスⅠ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	エアロビックダンスの特性・効果を理解し、構成する各種運動や動作を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	各種テキストのエアロビクス範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	フィットネスクラブ等でエアロビクスエクササイズの指導経験を持つ教員が経験を活かし、エアロビックダンスの知識および各種運動動作等の教育を行う
授業計画	1 エアロビックダンスの歴史、特性と効果 2 有酸素性運動の基礎知識 3 エアロビックダンス（ローインパクトのエアロビックダンス体験） 4 エアロビックダンス（ロー・ハイインパクトのエアロビックダンス体験） 5 エアロビックダンス（８ビートの理解） 6 エアロビックダンス（各ステップの特徴と注意点①） 7 エアロビックダンス（各ステップの特徴と注意点②） 8 中間考査① 9 エアロビックダンス（正しい姿勢と見本①） 10 エアロビックダンス（正しい姿勢と見本②） 11 エアロビックダンス（正しい姿勢と見本③） 12 エアロビックダンス（運動強度①） 13 エアロビックダンス（運動強度②） 14 期末考査対策① 15 期末考査① 16 エアロビックダンス（上肢①） 17 エアロビックダンス（上肢②） 18 エアロビックダンス（全身①） 19 エアロビックダンス（全身②） 20 エアロビックダンス（カウントに合わせたステップ、正しい動き①） 21 エアロビックダンス（カウントに合わせたステップ、正しい動き②） 22 エアロビックダンス（カウントに合わせたステップ、正しい動き③） 23 中間考査② 24 エアロビックダンス（安全で効果的な楽しいレッスン①） 25 エアロビックダンス（安全で効果的な楽しいレッスン②） 26 エアロビックダンス（プログラミング①） 27 エアロビックダンス（プログラミング②） 28 期末考査対策② 29 期末考査② 30 解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	水中運動Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	水の特性を理解し、水中運動を構成する各種運動・動作を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの水泳・水中運動範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	フィットネスクラブ等でアクアエクササイズやスイミングの指導経験を持つ教員が経験を活かし、水中運動に関する知識と運動動作の教育を行う
授業計画	1 水泳や水中運動の効果・特性、心拍数と運動強度、安全管理 2 水泳（浮身・ストリームラインの取り方、安全対策） 3 水泳（４泳法の基本的動作の習得①） 4 水泳（４泳法の基本的動作の習得②） 5 水泳（４泳法の基本的動作の習得③） 6 水泳（４泳法の基本的動作の習得④） 7 水泳（４泳法の基本的動作の習得⑤） 8 中間考査① 9 水泳（４泳法の基本的動作の習得①） 10 水泳（４泳法の基本的動作の習得②） 11 水泳（４泳法の基本的動作の習得③） 12 水泳（４泳法の指導法①） 13 水泳（４泳法の指導法②） 14 期末考査対策① 15 期末考査① 16 アクアエクササイズの基本の動き、アクアエクササイズの歴史と特性・効果 17 水中運動（水中ウォーキングの種類と基本動作） 18 水中運動（水中ウォーキングの運動強度） 19 水中運動（水中ウォーキングの脚・手の動き） 20 水中運動（水中ウォーキングのプログラミング①） 21 水中運動（水中ウォーキングのプログラミング②） 22 水中運動（水中ウォーキングの指導法①） 23 中間考査② 24 水中運動（水中ウォーキングの指導法②） 25 水中運動（水中ウォーキングの指導法③） 26 水中運動（水中ウォーキングの指導法④） 27 水中運動（水中ウォーキングの指導法⑤） 28 期末考査対策② 29 期末考査② 30 解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職活動の筆記試験対策として一般常識問題の対策と傾向を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	就職模擬試験で全国平均点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 筆記試験対策（国語①） 2 筆記試験対策（国語②） 3 筆記試験対策（国語③） 4 筆記試験対策（国語④） 5 筆記試験対策（国語⑤） 6 筆記試験対策（数学①） 7 筆記試験対策（数学②） 8 筆記試験対策（数学③） 9 筆記試験対策（数学④） 10 筆記試験対策（数学⑤） 11 筆記試験対策（英語①） 12 筆記試験対策（英語②） 13 筆記試験対策（英語③） 14 筆記試験対策（社会①） 15 筆記試験対策（社会②）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職活動の筆記試験対策としてＳＰＩ試験の傾向を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	マイナビＷｅｂ模擬試験で全国平均点以上を目標とする
教科書	マイナビテキスト（言語・非言語）
特記	
授業計画	1 筆記試験対策（言語①） 2 筆記試験対策（言語②） 3 筆記試験対策（言語③） 4 筆記試験対策（言語④） 5 筆記試験対策（言語⑤） 6 筆記試験対策（非言語①） 7 筆記試験対策（非言語②） 8 筆記試験対策（非言語③） 9 筆記試験対策（非言語④） 10 筆記試験対策（非言語⑤） 11 筆記試験対策（非言語⑥） 12 筆記試験対策（非言語⑦） 13 筆記試験対策（非言語⑧） 14 筆記試験対策（非言語⑨） 15 筆記試験対策（非言語⑩）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	本番を想定した面接練習を行い、対応力を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	様々な面接で対応できる技術を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 集団面接の基本 2 集団面接練習① 3 集団面接練習② 4 効果測定① 5 集団討論の基本 6 集団討論練習① 7 集団討論練習② 8 効果測定② 9 個人面接の基本 10 個人面接練習① 11 個人面接練習② 12 効果測定③ 13 書類送付方法 14 ビジネス電話 15 ビジネスメール
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ栄養学
実務家教員	○
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	身体活動・運動に対する各栄養素の役割及び活動中のエネルギー代謝を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な栄養学範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	アスリートや特定保健指導の対象者等への、食事計画の立案や栄養指導等の実務経験を持つ教員が経験を活かし、栄養に関する知識および食事指導等の教育を行う
授業計画	1 五大栄養素の役割① 2 五大栄養素の役割② 3 五大栄養素の役割③ 4 五大栄養素の役割④ 5 食物の消化・吸収、食物選択のためのガイド 6 中間考査対策① 7 中間考査① 8 身体組成とエネルギー代謝① 9 身体組成とエネルギー代謝② 10 スポーツ栄養マネジメント 11 種目特性の分類と食事 12 トレーニングスケジュールと食事 13 グリコーゲン補給と回復のための食事、水分補給① 14 グリコーゲン補給と回復のための食事、水分補給② 15 期末考査① 16 栄養・食事計画の立案 17 目的別の食事管理 18 栄養サポートと栄養教育の実践 19 運動時におけるエネルギー源、エネルギー消費量の推定法 20 適切な減量計画 21 中間考査対策② 22 中間考査② 23 健康日本２１における具体的な目標 24 日本人の食事摂取基準 25 食事バランスガイド 26 食事バランスガイドを活用した食事指導 27 食育について① 28 食育について② 29 期末考査② 30 解説、サプリメントの摂取方法
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	解剖学Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	運動器の骨、筋、靭帯、関節の機能を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）、ボディナビゲーション
特記	鍼灸院や整骨院等で運動機能障害を持つ患者に治療やリハビリテーション等の施術経験を持つ教員が経験を活かし、身体のあらゆる機能について教育を行う
授業計画	1 上肢（骨①） 2 上肢（骨②） 3 上肢（関節①） 4 上肢（関節②） 5 上肢（筋肉①） 6 上肢（筋肉②） 7 中間考査対策① 8 中間考査① 9 脊柱の基本構造 10 脊柱と胸郭（骨①） 11 脊柱と胸郭（骨②） 12 脊柱と胸郭（関節①） 13 脊柱と胸郭（関節②） 14 期末考査対策① 15 期末考査① 16 関節の運動を表わす用語 17 下肢（骨①） 18 下肢（骨②） 19 下肢（関節①） 20 下肢（関節②） 21 下肢（関節③） 22 中間考査対策② 23 中間考査② 24 下肢（筋肉①） 25 下肢（筋肉②） 26 下肢（筋肉③） 27 下肢（筋肉④） 28 下肢（筋肉⑤） 29 期末考査対策② 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	救急処置
実務家教員	○
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	運動実施中に発生しうる救急疾病や外科的損傷の病態を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な救急処置範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）、ボディナビゲーション
特記	鍼灸院や整骨院等で運動機能障害を持つ患者に治療やリハビリテーション等の施術経験を持つ教員が経験を活かし、身体のあらゆる機能について教育を行う
授業計画	1 救急処置法① 2 救急処置法② 3 救急処置法③ 4 テーピング総論 5 テーピング（足関節①） 6 テーピング（足関節②） 7 テーピング（足関節③） 8 テーピング（足関節④） 9 中間考査（筆記） 10 中間考査（実技①） 11 テーピング（膝関節①） 12 テーピング（膝関節②） 13 テーピング（膝関節③） 14 テーピング（膝関節④） 15 テーピング（膝関節⑤） 16 テーピング（下腿①） 17 テーピング（下腿②） 18 期末考査（実技①） 19 マッサージ（下肢①） 20 マッサージ（下肢②） 21 マッサージ（下肢③） 22 マッサージ（下肢④） 23 中間考査（実技②） 24 マッサージ（上肢①） 25 マッサージ（上肢②） 26 マッサージ（上肢③） 27 マッサージ（上肢④） 28 マッサージ（上肢⑤） 29 マッサージ（全身） 30 期末考査（実技②）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ｉ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	目的に応じたトレーニング方法と効果を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要なトレーニング学範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 健康づくりとレジスタンスエクササイズ、レジスタンス運動の分類 2 アイソトニックトレーニングの実際① 3 アイソトニックトレーニングの実際② 4 アイソメトリックトレーニングの実際 5 サーキットトレーニング 6 筋力トレーニングの効果 7 筋力トレーニングのプログラムの条件設定① 8 筋力トレーニングのプログラムの条件設定② 9 中間考査① 10 筋力トレーニングの実際① 11 筋力トレーニングの実際② 12 筋力トレーニングの実際③ 13 筋力トレーニングの実際④ 14 期末考査① 15 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成① 16 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成② 17 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成③ 18 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成④ 19 パワー向上トレーニングの実際（パワークリーン） 20 パワー向上トレーニングの実際（ダンベルパワークリーン） 21 パワー向上トレーニングの実際（スナッチ） 22 パワー向上トレーニングの実際（ジャーク、ＳＱジャンプ） 23 中間考査② 24 パワー向上トレーニングの実際（プライオメトリクス①） 25 パワー向上トレーニングの実際（プライオメトリクス②） 26 パワー向上トレーニングの実際（プライオメトリクス③） 27 パワー向上トレーニングの実際（プライオメトリクス④） 28 パワー向上トレーニングの実際（プライオメトリクス⑤） 29 期末考査② 30 解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	運動生理学Ｉ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	運動の発現の仕組み、発現に対しての筋の役割、呼吸循環系を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な運動生理学範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 運動の発現 2 骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構① 3 骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構② 4 筋線維タイプと収縮特性、運動と筋線維タイプ 5 筋収縮の様式と筋力、トレーニングと骨格筋 6 中間考査対策① 7 中間考査① 8 運動の持続と呼吸循環系① 9 運動の持続と呼吸循環系② 10 呼吸循環系の機能の指標と調節機構 11 運動に伴う呼吸循環機能の変化 12 運動時の酸素利用① 13 運動時の酸素利用② 14 期末考査対策① 15 期末考査① 16 トレーニングによる呼吸循環系の適応 17 運動と血液・体液 18 成長期における体力・基本的動作スキルの発達 19 成人以降の加齢に伴う体力・運動能力の低下、体力に及ぼす先天的要因と後天的要因 20 中間考査対策② 21 中間考査② 22 呼吸循環系の基礎的情報① 23 呼吸循環系の基礎的情報② 24 運動と呼吸循環系① 25 運動と呼吸循環系② 26 トレーニングと呼吸循環系① 27 トレーニングと呼吸循環系② 28 期末考査対策② 29 期末考査② 30 解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学Ｉ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	運動実践が心身に与える影響、個別指導における動機づけとカウンセリングの方法を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な心理学的基礎の範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 運動実践にかかわる社会・心理・環境的要因 2 運動実践によって得られる心理社会的効果の内容とその効果を高める要因 3 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論① 4 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論② 5 募集に際して要因を明確にし、多くの参加者を得るための留意点 6 中間考査対策 7 中間考査 8 指導と受講のミスマッチと解決方法 9 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法① 10 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法② 11 一般人の健康増進への活用① 12 一般人の健康増進への活用② 13 一般人の健康増進への活用③ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	発育発達論
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	体力と発育・発達と老化の関係について学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、ＪＡＴＩの試験に必要な発育発達範囲の知識を習得する
教科書	子どもの発育・発達と健康、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 イントロダクション 2 発育発達研究の基礎 3 出産と新生児 4 乳幼児の運動能力の発達① 5 乳幼児の運動能力の発達② 6 幼児の運動能力① 7 中間考査① 8 幼児の運動能力② 9 体力の構造と測定① 10 体力の構造と測定② 11 形態の発育① 12 形態の発育② 13 期末考査対策① 14 期末考査① 15 機能の発達① 16 機能の発達② 17 機能の発達③ 18 運動能力構造の変化① 19 運動能力構造の変化② 20 身体発達に影響する要因と問題 21 中間考査② 22 生活習慣病 23 現代の健康問題① 24 現代の健康問題② 25 老化① 26 老化② 27 運動指導の科学① 28 運動指導の科学② 29 期末考査対策② 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ社会学
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会生活とスポーツの関連性を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	生涯スポーツの知識を習得する
教科書	生涯スポーツ実践論
特記	
授業計画	1 数字で見る日本のスポーツ 2 生涯スポーツ社会を目指して① 3 生涯スポーツ社会を目指して② 4 生涯スポーツとヘルスプロモーション 5 地域社会と生涯スポーツイベント 6 生涯スポーツ指導者とボランティア① 7 中間考査 8 生涯スポーツ指導者とボランティア② 9 高齢者のスポーツ参加 10 障がい者のスポーツ参加 11 生涯スポーツとニュースポーツ 12 スポーツクラブの現状と課題 13 スポーツクラブの運営 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	グループエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	フィットネスインストラクターとして必要な基礎知識について学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	ＪＡＦＡ-ＧＦＩ共通筆記資格試験合格を目標とする
教科書	フィットネス基礎理論、グループエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 イントロダクション 2 フィットネス概論 3 運動器の基礎解剖学① 4 運動器の基礎解剖学② 5 運動器の基礎解剖学③ 6 運動生理学① 7 運動生理学② 8 運動生理学③ 9 中間考査対策① 10 中間考査① 11 体力学・トレーニング科学・運動処方① 12 体力学・トレーニング科学・運動処方② 13 体力学・トレーニング科学・運動処方③ 14 運動と栄養・体重管理① 15 運動と栄養・体重管理② 16 心と心理 17 運動と安全管理、事故・傷害の予防 18 期末考査① 19 グループエクササイズ① 20 グループエクササイズ② 21 グループエクササイズ③ 22 グループエクササイズ④ 23 中間考査対策② 24 中間考査② 25 対策問題演習① 26 対策問題演習② 27 対策問題演習③ 28 対策問題演習④ 29 対策問題演習⑤ 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	レジスタンスエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	自重トレーニングのグループレッスンに必要な知識と実技スキルを学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	ＪＡＦＡ－ＧＦＩ　ＲＥＩ資格試験合格を目標とする
教科書	レジスタンスエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 骨格筋の機能解剖学（筆記） 2 レジスタンスエクササイズの基本の動き（筆記） 3 レジスタンスエクササイズの基本の動き（実技①） 4 レジスタンスエクササイズの基本の動き（実技②） 5 レジスタンスエクササイズの基本の動き（実技③） 6 中間考査（実技） 7 骨格筋の解剖生理学（筆記） 8 レジスタンスエクササイズの基礎知識（筆記①） 9 レジスタンスエクササイズの基礎知識（筆記②） 10 レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技①） 11 レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技②） 12 レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技③） 13 レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技④） 14 期末考査（筆記） 15 期末考査（実技）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ストレッチングエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ストレッチングのグループレッスンに必要な知識と実技スキルを学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	ＪＡＦＡ－ＧＦＩ　ＳＥＩ資格試験合格を目標とする
教科書	ストレッチングエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 ストレッチング（実技①） 2 ストレッチング（実技②） 3 ストレッチングエクササイズの基本の動き（筆記） 4 ストレッチングエクササイズの基本の動き（実技①） 5 ストレッチングエクササイズの基本の動き（実技②） 6 中間考査（実技） 7 骨格筋の解剖生理学（筆記） 8 ストレッチングエクササイズの基礎知識（筆記①） 9 ストレッチングエクササイズの基礎知識（筆記②） 10 ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技①） 11 ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技②） 12 ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技③） 13 ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技④） 14 期末考査（筆記） 15 期末考査（実技）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ダイビング実習
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ダイビングの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	ＰＡＤＩオープン・ウォーター・ダイバー資格試験合格を目標とする
教科書	オープンウォーターダイバーマニュアル
特記	
授業計画	1 ダイバーに必要な基礎知識（水圧と空気の体積の影響） 2 ダイバーに必要な基礎知識（水中でのものの見え方・音の聞こえ方） 3 ダイバーに必要な基礎知識（ダイビングの環境） 4 ダイバーに必要な基礎知識（ダイビングと健康管理） 5 トラブルの管理 6 器材について（選び方と手入れ） 7 器材について（ウェット／ドライスーツ・水面シグナル器材） 8 基礎知識と器材についての復習 9 ダイバーとしてのスキル（スクーバキットのセッティング） 10 ダイバーとしてのスキル（マスククリア・マスク脱着） 11 ダイバーとしてのスキル（中性浮力） 12 ダイバーとしてのスキル（潜降と浮上・ハンドシグナル） 13 ダイバーとしてのスキル（緊急時の対処法） 14 ダイブコンピューターとテーブルの使い方 15 実技試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャンプ実習
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	キャンプインストラクターの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	キャンプインストラクター資格試験合格を目標とする
教科書	キャンプ指導者入門
特記	
授業計画	1 キャンプの特性（キャンプの意義と目的） 2 キャンプの特性（キャンプのルールとマナー） 3 キャンプの特性（キャンプと環境教育） 4 キャンプの対象（人間の心身の理解） 5 キャンプの対象（自然環境の理解） 6 キャンプの指導（キャンプインストラクターの資質と役割） 7 キャンプの指導（指導者のためのコミュニケーションスキル） 8 キャンプの安全についての危険予知とその対処 9 キャンプの基本装備（個人装備と団体装備） 10 キャンプに必要な生活技術（テント設営） 11 キャンプに必要な生活技術（アウトドアクッキング） 12 キャンプに必要な生活技術（ロープワーク） 13 キャンプで行う４つのアクティビティ 14 実技試験① 15 実技試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スキー基礎技術論
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	スキーの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	バッジテスト５級以上の合格を目標とする
教科書	なし
特記	
授業計画	1 スキーの現状 2 器具の選び方、セッティングと着用方法 3 基本姿勢（ボーゲン）と開脚歩行 4 停止と安全な転び方 5 スキーにおける身体の使い方 6 プルークボーゲンでの滑走（基礎） 7 プルークボーゲンでの滑走（応用） 8 ターン基礎（緩斜面でのパラレルターン） 9 ターン基礎（緩斜面でのシュテムターン） 10 ターン応用（中斜面でのパラレルターン） 11 ターン応用（中斜面でのシュテムターン） 12 ターン応用（中急斜面でのパラレルターン） 13 スキーヤーとしてのルールとマナー 14 実技試験① 15 実技試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スノーボード基礎技術論
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	スノーボードの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	バッジテスト５級以上の合格を目標とする
教科書	なし
特記	
授業計画	1 スノーボードの現状 2 セッティングと着用方法、スタンスの確認 3 基本姿勢 4 体重のかけ方 5 安全な転び方 6 スケーティング基礎 7 スケーティングでの方向転換 8 ターンにおける身体の使い方（上半身・下半身） 9 ターン基礎（緩斜面での停止・連続ターン） 10 ターン基礎（緩斜面でのロングターン・ミドルターン） 11 ターン応用（中斜面でのショートターン・カービングターンロング） 12 ターン応用（中斜面でのカービングターンショート・ベーシックカーブロング） 13 スノーボーダーにおけるルールとマナー 14 実技試験① 15 実技試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネスマネジメント
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	フィットネスクラブ業界に必要な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	フィットネスクラブ・マネジメント技能検定３級合格を目標とする
教科書	フィットネスクラブマネジメント公式テキスト
特記	
授業計画	1 フィットネス産業① 2 フィットネス産業② 3 健康づくり① 4 健康づくり② 5 運動・トレーニングの基礎① 6 運動・トレーニングの基礎② 7 店舗運営① 8 店舗運営② 9 顧客マネジメント① 10 顧客マネジメント② 11 チームワークとコミュニケーション 12 施設・設備管理の意義と重要性 13 安全衛生、過去問題演習 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング理論
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	トレーニング機器の特性や機能を理解し、トレーニングプログラムの知識を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	目的に応じたトレーニングメニューの作成方法を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 有酸素性運動（プログラミング） 2 有酸素性運動（プログラムの進行） 3 有酸素性運動（機器を用いない有酸素性運動の指導上の留意点） 4 有酸素性運動（有酸素性運動の選択と指導上の留意点） 5 レジスタンス運動（安全性と効果） 6 レジスタンス運動（負荷設定法、負荷強度、反復回数） 7 レジスタンス運動（レジスタンス運動の種類） 8 レジスタンス運動（レジスタンス運動の方法） 9 ケーススタディによるプログラム作成① 10 ケーススタディによるプログラム作成② 11 ケーススタディによるプログラム作成③ 12 ケーススタディによるプログラム作成④ 13 ケーススタディによるプログラム作成⑤ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 応用漢字の訓読み・送り仮名① 2 応用漢字の訓読み・送り仮名② 3 応用漢字の熟語① 4 応用漢字の熟語② 5 応用漢字の熟語③ 6 応用漢字の異字同訓・同音異義 7 応用漢字の誤字訂正① 8 応用漢字の誤字訂正②・類義語 9 応用漢字の反対語 10 応用漢字の意味・使い方① 11 応用漢字の意味・使い方② 12 応用漢字項目別模擬試験① 13 応用漢字項目別模擬試験② 14 応用漢字直前模擬試験① 15 応用漢字直前模擬試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における科目解答状況で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	電卓技能の向上を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習① 3 電卓演習② 4 電卓演習③ 5 電卓演習④ 6 電卓演習⑤ 7 電卓演習⑥ 8 電卓演習⑦ 9 電卓演習⑧ 10 電卓演習⑨ 11 電卓演習⑩ 12 電卓演習⑪ 13 電卓演習⑫ 14 電卓演習⑬ 15 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	科目習熟度を測定する試験で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する
達成目標	電卓技能検定に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	1 小数点以下の取り扱い諸注意 2 電卓実践演習１ 3 電卓実践演習２ 4 電卓実践演習３ 5 電卓実践演習４ 6 電卓実践演習５ 7 電卓実践演習６ 8 電卓実践演習７ 9 電卓実践演習８ 10 電卓実践演習９ 11 電卓実践演習１０ 12 電卓実践演習１１ 13 電卓実践演習１２ 14 電卓実践演習１３ 15 電卓実践演習１４
成績評価方法 （試験実施方法）	科目習熟度を測定する試験で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身に付けなければならないスキルを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	社会人として必要な知識やスキルを習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 働くとは 2 業界研究① 3 業界研究② 4 企業研究① 5 企業研究② 6 志望動機の作り方① 7 志望動機の作り方② 8 志望動機の作り方③ 9 志望動機の作り方④ 10 書類送付方法 11 ビジネス電話 12 ビジネスメール 13 内定後学習① 14 内定後学習② 15 内定後学習③
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを実施する
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を習得する
教科書	プリント、資料
特記	
授業計画	1 グループディスカッションとは 2 グループディスカッションの役割 3 抽象テーマ型グループディスカッション① 4 抽象テーマ型グループディスカッション② 5 抽象テーマ型グループディスカッション③ 6 課題解決型グループディスカッション① 7 課題解決型グループディスカッション② 8 課題解決型グループディスカッション③ 9 資料読み取り型グループディスカッション① 10 資料読み取り型グループディスカッション② 11 資料読み取り型グループディスカッション③ 12 フェルミ推定 13 ＫＪ法 14 その他特殊型① 15 その他特殊型②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける
教科書	テキスト、参考書
特記	
授業計画	1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥ 16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 店舗形態別小売業① 26 店舗形態別小売業② 27 店舗形態別小売業③ 28 商業集積① 29 商業集積② 30 商業集積③ 31 商業集積④ 32 商業集積⑤ 33 商業集積⑥ 34 小売業のマーケティング① 35 小売業のマーケティング② 36 小売業のマーケティング③ 37 小売業のマーケティング④ 38 小売業のマーケティング⑤ 39 小売業のマーケティング⑥ 40 顧客満足経営① 41 顧客満足経営② 42 顧客満足経営③ 43 顧客満足経営④ 44 顧客満足経営⑤ 45 顧客満足経営⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	科目習熟度を測定するテストで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	リテールマーケティング検定３級レベルの知識を理解し身に付ける
教科書	テキスト、参考書
特記	
授業計画	1 証券の設定と出店① 2 証券の設定と出店② 3 証券の設定と出店③ 4 リージョナルプロモーション① 5 リージョナルプロモーション② 6 リージョナルプロモーション③ 7 顧客志向型売り場づくり① 8 顧客志向型売り場づくり② 9 顧客志向型売り場づくり③ 10 ストアオペレーション① 11 ストアオペレーション② 12 ストアオペレーション③ 13 ストアオペレーション④ 14 ストアオペレーション⑤ 15 ストアオペレーション⑥ 16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディスプレイ① 20 ディスプレイ② 21 ディスプレイ③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥ 31 商品計画① 32 商品計画② 33 商品計画③ 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 販売計画及び仕入れ計画② 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理① 41 在庫管理② 42 在庫管理③ 43 販売管理① 44 販売管理② 45 販売管理③
成績評価方法 （試験実施方法）	科目習熟度を測定するテストで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	社会保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 総まとめ　問題対策・演習⑮ 16 総まとめ　問題対策・演習⑯ 17 総まとめ　問題対策・演習⑰ 18 総まとめ　問題対策・演習⑱ 19 総まとめ　問題対策・演習⑲ 20 総まとめ　問題対策・演習⑳ 21 総まとめ　問題対策・演習㉑ 22 総まとめ　問題対策・演習㉒ 23 総まとめ　問題対策・演習㉓ 24 総合問題演習① 25 総合問題演習② 26 総合問題演習③ 27 総合問題演習④ 28 総合問題演習⑤ 29 総合問題演習⑥ 30 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における科目解答状況で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 総まとめ　問題対策・演習⑮ 16 総まとめ　問題対策・演習⑯ 17 総まとめ　問題対策・演習⑰ 18 総まとめ　問題対策・演習⑱ 19 総まとめ　問題対策・演習⑲ 20 総まとめ　問題対策・演習⑳ 21 総まとめ　問題対策・演習㉑ 22 総まとめ　問題対策・演習㉒ 23 総まとめ　問題対策・演習㉓ 24 総合問題演習① 25 総合問題演習② 26 総合問題演習③ 27 総合問題演習④ 28 総合問題演習⑤ 29 総合問題演習⑥ 30 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における科目解答状況で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	金融資産運用に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 総まとめ　問題対策・演習⑮ 16 総まとめ　問題対策・演習⑯ 17 総まとめ　問題対策・演習⑰ 18 総まとめ　問題対策・演習⑱ 19 総まとめ　問題対策・演習⑲ 20 総まとめ　問題対策・演習⑳ 21 総まとめ　問題対策・演習㉑ 22 総まとめ　問題対策・演習㉒ 23 総まとめ　問題対策・演習㉓ 24 総合問題演習① 25 総合問題演習② 26 総合問題演習③ 27 総合問題演習④ 28 総合問題演習⑤ 29 総合問題演習⑥ 30 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における科目解答状況で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	タックスプランニング概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	税全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 総まとめ　問題対策・演習⑮ 16 総まとめ　問題対策・演習⑯ 17 総まとめ　問題対策・演習⑰ 18 総まとめ　問題対策・演習⑱ 19 総まとめ　問題対策・演習⑲ 20 総まとめ　問題対策・演習⑳ 21 総まとめ　問題対策・演習㉑ 22 総まとめ　問題対策・演習㉒ 23 総まとめ　問題対策・演習㉓ 24 総合問題演習① 25 総合問題演習② 26 総合問題演習③ 27 総合問題演習④ 28 総合問題演習⑤ 29 総合問題演習⑥ 30 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における科目解答状況で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	不動産に関する法律や専門用語、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 総まとめ　問題対策・演習⑮ 16 総まとめ　問題対策・演習⑯ 17 総まとめ　問題対策・演習⑰ 18 総まとめ　問題対策・演習⑱ 19 総まとめ　問題対策・演習⑲ 20 総まとめ　問題対策・演習⑳ 21 総まとめ　問題対策・演習㉑ 22 総まとめ　問題対策・演習㉒ 23 総まとめ　問題対策・演習㉓ 24 総合問題演習① 25 総合問題演習② 26 総合問題演習③ 27 総合問題演習④ 28 総合問題演習⑤ 29 総合問題演習⑥ 30 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における科目解答状況で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	相続・贈与等に関連する用語の理解、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総まとめ　問題対策・演習① 2 総まとめ　問題対策・演習② 3 総まとめ　問題対策・演習③ 4 総まとめ　問題対策・演習④ 5 総まとめ　問題対策・演習⑤ 6 総まとめ　問題対策・演習⑥ 7 総まとめ　問題対策・演習⑦ 8 総まとめ　問題対策・演習⑧ 9 総まとめ　問題対策・演習⑨ 10 総まとめ　問題対策・演習⑩ 11 総まとめ　問題対策・演習⑪ 12 総まとめ　問題対策・演習⑫ 13 総まとめ　問題対策・演習⑬ 14 総まとめ　問題対策・演習⑭ 15 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における科目解答状況で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Ｅｘｃｅｌ応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ＭＯＳ　Ｅｘｃｅｌエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Ｅｘｃｅｌの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成① 4 テーブルの作成② 5 関数を使用してのデータ集計① 6 関数を使用してのデータ集計② 7 関数を使用しての条件付き計算① 8 関数を使用しての条件付き計算② 9 関数を使用しての条件付き計算③ 10 関数を使用した文字列の整形や変更① 11 関数を使用した文字列の整形や変更② 12 グラフの作成① 13 グラフの作成② 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Ｗｏｒｄ基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ＰＣの基礎操作並びにＷｏｒｄの基礎操作を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を習得する
教科書	テキスト、参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 文章の書式設定③ 8 文章の書式設定④ 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 13 文章の印刷、保存① 14 文章の印刷、保存② 15 文章の印刷、保存③ 16 文章の印刷、保存④ 17 文字列・段落の挿入① 18 文字列・段落の挿入② 19 文字列・段落の挿入③ 20 文字列・段落の挿入④ 21 文字列・段落の書式設定① 22 文字列・段落の書式設定② 23 文字列・段落の書式設定③ 24 文字列・段落の書式設定④ 25 文字列・段落の書式設定⑤ 26 文字列・段落の並び替え、グループ化① 27 文字列・段落の並び替え、グループ化② 28 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 29 文字列・段落の並び替え、グループ化④ 30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による試験で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Ｗｏｒｄ応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ＰＣの基礎操作並びにＷｏｒｄの応用操作を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	ＭＯＳ Ｗｏｒｄレベルの操作を習得する
教科書	テキスト、参考書
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 ＳｍａｒｔＡｒｔの挿入、書式設定① 15 ＳｍａｒｔＡｒｔの挿入、書式設定②
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による試験で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Ｐｏｗｅｒ　Ｐｏｉｎｔ基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ＰＣの基礎操作並びにＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔの基礎操作を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を習得する
教科書	テキスト、参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並べ替え、グループ化① 9 スライドの並べ替え、グループ化② 10 スライドの並べ替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による試験で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Ｐｏｗｅｒ　Ｐｏｉｎｔ応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ＰＣの基礎操作並びにＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔの応用操作を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	ＭＯＳ　ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔレベルの操作を習得する
教科書	テキスト、参考書
特記	
授業計画	1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定① 3 グラフの挿入、書式設定② 4 ＳｍａｒｔＡｒｔの挿入、書式設定① 5 ＳｍａｒｔＡｒｔの挿入、書式設定② 6 メディアの挿入、管理① 7 メディアの挿入、管理② 8 画面切り替えの設定① 9 画面切り替えの設定② 10 アニメーションの設定① 11 アニメーションの設定② 12 複数のコンテンツの結合① 13 複数のコンテンツの結合② 14 プレゼンテーションの保護、共有① 15 プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による試験で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする能力を身に付ける
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	社会人として必要な知識やマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究・グループ討議① 6 時事研究・グループ討議② 7 時事研究・グループ討議③ 8 時事研究・グループ討議④ 9 時事研究・グループ討議⑤ 10 時事研究・グループ討議⑥ 11 時事研究・グループ討議⑦ 12 時事研究・グループ討議⑧ 13 時事研究・グループ討議⑨ 14 発表① 15 発表②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 挨拶の種類・笑顔、お辞儀 2 正しい敬語の使い方 3 状況に応じた言葉遣い 4 演習① 5 演習② 6 効果測定① 7 効果測定② 8 応対の基本 9 名刺交換 10 演習③ 11 演習④ 12 総合演習① 13 総合演習② 14 効果測定③ 15 効果測定④
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅣ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身に付ける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 接客販売の心得 2 お客様の心理理解 3 接客用語 4 状況別の店内接客① 5 状況別の店内接客② 6 演習① 7 演習② 8 電話応対での問い合わせ 9 演習③ 10 演習④ 11 総合演習① 12 総合演習② 13 総合演習③ 14 効果測定① 15 効果測定②
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅤ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身に付ける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 営業職のマナー① 2 営業職のマナー② 3 訪問のマナー① 4 訪問のマナー② 5 演習① 6 演習② 7 商談の進め方① 8 商談の進め方② 9 演習③ 10 演習④ 11 総合演習① 12 総合演習② 13 総合演習③ 14 効果測定① 15 効果測定②
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅥ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身に付ける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商品説明知識 2 好感を持たれる商品説明 3 演習① 4 演習② 5 クレームとは 6 電話でのクレーム応対方法 7 演習③ 8 演習④ 9 店内でのクレーム応対方法 10 演習⑤ 11 演習⑥ 12 総合演習① 13 総合演習② 14 効果測定① 15 効果測定②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学ぶ
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト、プリント
特記	
授業計画	1 学校と職場の違い① 2 学校と職場の違い② 3 学校と職場の違い③ 4 職場のマナー① 5 職場のマナー② 6 職場のマナー③ 7 仕事の進め方① 8 仕事の進め方② 9 仕事の進め方③ 10 報告、連絡、相談① 11 報告、連絡、相談② 12 報告、連絡、相談③ 13 挨拶① 14 挨拶② 15 挨拶③ 16 笑顔、お辞儀① 17 笑顔、お辞儀② 18 笑顔、お辞儀③ 19 敬語① 20 敬語② 21 敬語③ 22 応対の基本① 23 応対の基本② 24 応対の基本③ 25 電話応対① 26 電話応対② 27 電話応対③ 28 効果測定① 29 効果測定② 30 効果測定③
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	接遇ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する
教科書	オリジナルテキスト、レジュメ
特記	
授業計画	1 接遇マナーとは 2 接遇の心構え 3 お茶の入れ方、出し方 4 お見送り 5 後片付け 6 接遇の流れ① 7 接遇の流れ② 8 演習① 9 演習② 10 演習③ 11 演習④ 12 演習⑤ 13 演習⑥ 14 効果測定① 15 効果測定②
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト、参考書
特記	
授業計画	1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上① 3 納品書の作成と売上計上② 4 請求書の作成と代金回収管理① 5 請求書の作成と代金回収管理② 6 請求書の作成と代金回収管理③ 7 複数の得意先との取引① 8 複数の得意先との取引② 9 複数の得意先との取引③ 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳① 12 仕入管理の記帳② 13 仕入代金の支払いと買掛金管理① 14 仕入代金の支払いと買掛金管理② 15 仕入代金の支払いと買掛金管理③
成績評価方法 （試験実施方法）	科目習熟度を測定する試験で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	時事
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つことを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できる 自ら時事に関する情報取集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる
教科書	テキスト、参考書
特記	
授業計画	1 用語知識① 2 用語知識② 3 用語知識③ 4 用語知識④ 6 考え方① 7 考え方② 8 考え方③ 9 考え方④ 10 発表① 11 発表② 12 発表③ 13 個人研究① 14 個人研究② 15 個人研究③
成績評価方法 （試験実施方法）	科目習熟度を測定する試験で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概要
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト、参考書
特記	
授業計画	1 顧客満足① 2 顧客満足② 3 マーケティングの必要性① 4 マーケティングの必要性② 5 情報収集と分析① 6 情報収集と分析② 7 流通チャネル① 8 流通チャネル② 9 プロモーション① 10 プロモーション② 11 財務知識① 12 財務知識② 13 事例研究① 14 事例研究② 15 事例研究③
成績評価方法 （試験実施方法）	科目習熟度を測定する試験で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を習得する
教科書	テキスト、参考書
特記	
授業計画	1 店舗データの理解① 2 店舗データの理解② 3 マーケティングの流れ① 4 マーケティングの流れ② 5 売上構成分析① 6 売上構成分析② 7 来店客分析① 8 来店客分析② 9 商品分析① 10 商品分析② 11 費用分析① 12 費用分析② 13 課題抽出① 14 課題抽出② 15 アンケート調査分析① 16 アンケート調査分析② 17 企画作成① 18 企画作成② 19 企画作成③ 20 企画作成④ 21 様々なマーケティング① 22 様々なマーケティング② 23 プレ卒業研究① 24 プレ卒業研究② 25 プレ卒業研究③ 26 プレ卒業研究④ 27 プレ卒業研究⑤ 28 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑦ 30 プレ卒業研究⑧
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売職ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	接客に関する実践的な知識やスキルを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する
教科書	オリジナルテキスト、プリント
特記	
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは① 2 接客販売、営業マナーとは② 3 接客販売、営業マナーとは③ 4 接客販売の心得① 5 接客販売の心得② 6 接客販売の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 店内接客の基本① 11 店内接客の基本② 12 店内接客の基本③ 13 演習① 14 演習② 15 演習③ 16 営業の心得① 17 営業の心得② 18 営業の心得③ 19 訪問の流れ① 20 訪問の流れ② 21 訪問の流れ③ 22 演習① 23 演習② 24 演習③ 25 商談の進め方① 26 商談の進め方② 27 商談の進め方③ 28 商品説明① 29 商品説明② 30 商品説明③ 31 演習① 32 演習② 33 演習③ 34 接遇マナーとは① 35 接遇マナーとは② 36 接遇マナーとは③ 37 接遇の流れ① 38 接遇の流れ② 39 接遇の流れ③ 40 演習① 41 演習② 42 演習③ 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プレゼンテーション
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企画から発表までの一連の流れを学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素を習得する
教科書	テキスト、参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーション① 2 プレゼンテーション② 3 企画① 4 企画② 5 企画③ 6 情報収集① 7 情報収集② 8 情報収集③ 9 シナリオ作成① 10 シナリオ作成② 11 シナリオ作成③ 12 コンテンツ作成① 13 コンテンツ作成② 14 話し方 15 発表
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	卒業研究
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	１８０時間
授業コマ数	９０コマ
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成することを目標とする
教科書	テキスト、参考書
特記	

授業計画

1	オリエンテーション①	31	店舗見学③	61	立案仮説（調査・検証⑧）
2	オリエンテーション②	32	店舗見学（分析①）	62	企画案作成①
3	オリエンテーション③	33	店舗見学（分析②）	63	企画案作成②
4	オリエンテーション④	34	店舗見学（分析③）	64	企画案作成③
5	業界情報収集①	35	店舗見学（分析④）	65	企画案作成④
6	業界情報収集②	36	店舗見学（分析⑤）	66	企画案作成⑤
7	業界情報収集③	37	店舗見学（分析⑥）	67	企画案作成⑥
8	業界情報収集④	38	店舗見学（分析⑦）	68	企画案作成⑦
9	業界情報収集⑤	39	店舗見学（分析⑧）	69	企画案作成⑧
10	業界情報収集⑥	40	店舗見学（分析⑨）	70	研究結果中間発表①
11	業界情報収集⑦	41	店舗見学（分析⑩）	71	研究結果中間発表②
12	業界情報収集⑧	42	店舗見学（課題抽出①）	72	研究結果中間発表③
13	業界分析①	43	店舗見学（課題抽出②）	73	研究結果中間発表④
14	業界分析②	44	店舗見学（課題抽出③）	74	研究結果中間発表⑤
15	業界分析③	45	店舗見学（課題抽出④）	75	企画案再検証①
16	業界分析④	46	店舗見学（課題抽出⑤）	76	企画案再検証②
17	業界分析⑤	47	店舗見学（課題抽出⑥）	77	企画案再検証③
18	業界分析⑥	48	店舗見学（課題抽出⑦）	78	企画案再検証④
19	業界分析⑦	49	店舗見学（課題抽出⑧）	79	企画案再検証⑤
20	業界分析⑧	50	店舗見学（仮説立案①）	80	研究結果最終発表①
21	業界分析⑨	51	店舗見学（仮説立案②）	81	研究結果最終発表②
22	業界分析⑩	52	店舗見学（仮説立案③）	82	研究結果最終発表③
23	業界分析⑪	53	店舗見学（仮説立案④）	83	研究結果最終発表④
24	業界分析⑫	54	立案仮説（調査・検証①）	84	研究結果最終発表⑤
25	業界分析⑬	55	立案仮説（調査・検証②）	85	代表者コンテスト①
26	業界分析⑭	56	立案仮説（調査・検証③）	86	代表者コンテスト②
27	業界分析⑮	57	立案仮説（調査・検証④）	87	代表者コンテスト③
28	業界分析⑯	58	立案仮説（調査・検証⑤）	88	代表者コンテスト④
29	店舗見学①	59	立案仮説（調査・検証⑥）	89	代表者コンテスト⑤
30	店舗見学②	60	立案仮説（調査・検証⑦）	90	代表者コンテスト⑥

成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（英会話基礎）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ネイティブ講師から語学を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	基本的な英会話を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 英語基礎① 2 Ｓｅｌｆ　Ｉｎｔｒｏｄｕｃｔｉｏｎｓ 3 Ｂａｓｉｃ　Ｃｏｎｖｅｒｓａｔｉｏｎ　ａｎｄ　Ｒｅｓｐｏｎｓｅｓ 4 英語基礎② 5 Ｅｖｅｒｙｄａｙ　Ｃｏｎｖｅｒｓａｔｉｏｎ 6 Ｅｘｐｒｅｓｓｉｎｇ　Ｆｅｅｌｉｎｇｓ 7 英語基礎③ 8 Ｅｍｏｔｉｏｎｓ，　Ｒｅａｃｔｉｏｎｓ，　ａｎｄ　Ｗｈ－Ｑｕｅｓｔｉｏｎｓ 9 Ｄａｉｌｙ　Ｌｉｆｅ 10 英語基礎④ 11 Ｄａｉｌｙ　Ｌｉｆｅ（Ｈｏｓｐｉｔａｌｉｔｙ） 12 Ｄａｉｌｙ　Ｌｉｆｅ（Ｔｅｌｅｐｈｏｎｉｎｇ） 13 英語基礎⑤ 14 Ｒｅｓｐｏｎｄｉｎｇ　ｔｏ　Ｆｏｒｅｉｇｎ　Ｖｉｓｉｔｏｒｓ 15 Ｒｅｖｉｅｗ
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ｂ	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	中国人講師から語学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る	
教科書	テキスト、参考書	
特記		
授業計画	1	中国語発音の基礎（４つの声調・６つの基本母音・複合母音）
	2	中国語発音の基礎（２１の子音・鼻音・声調変化）
	3	中国語発音の基礎（声調と変調・ｒ化現象・発音のおさらい）
	4	簡単な日常挨拶（人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について）
	5	簡単な日常挨拶（基本的語順（是ｏｒ動詞を述語とする場合）・丁寧語について）
	6	数字を覚えよう（年、月、日、曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」）
	7	数字の活用（こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」）
	8	存在・所有の表現（動詞「有」・否定「没有」・「什么」＋名詞）
	9	場所の表現（場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」）
	10	買い物をする／値段を聞く＆値段交渉する（人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」）
	11	乗り換えと両替（「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」）
	12	電話をする（「是～的」の構文・結果補語）、約束する（ある経験を表す文型「動詞＋过～」・まだ～していない「还没(有)～」）
	13	確認する（もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」）
	14	お客さんの出迎え＆歓迎会（連体修飾語としての動詞、動詞構造、主述構造・程度補語「得」）
	15	別れを告げる＆総復習（仮説を表す「～的话」、「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する）
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定する試験で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（韓国語）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	韓国人講師から語学を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	１．読み書きができる ２．以下の簡単な会話ができる ①挨拶＆自己紹介 ②買い物でのやりとり ③店での注文 ④道などを尋ねる
教科書	テキスト、参考書
特記	
授業計画	1 オリエンテーション：韓国語に関する豆知識、基本母音 2 基本子音（説明＆子音「K」）、復習と会話 3 小テスト、基本子音（「N」＆「T」＆「R」、基本子音（「M」＆「P」＆「S」） 4 復習と会話、基本子音（「J」＆「H」＋まとめ） 5 小テスト、激音（「Ｃｈ」＆「Ｋｈ」）、復習と会話 6 激音（「Ｔｈ」＆「Ｐｈ」）＋まとめ、濃音（「ＫＫ」＆「ＴＴ」＆「ＰＰ」） 7 小テスト、復習と会話、濃音（「ＳＳ」＆「ＪＪ」＋まとめ） 8 パッチム（Ｐ２０の説明、Ｐ２３Ｎ）、復習と会話 9 小テスト、パッチム（Ｐ２０Ｋ、Ｐ２１Ｂ）、パッチム（Ｐ２２Ｍ、Ｐ２１ＮＧ） 10 復習と会話、パッチム（Ｐ２３Ｌ、Ｐ２２Ｔ）＋まとめ 11 小テスト、合成母音（Ｐ２５＆２６の説明）、復習と会話 12 合成母音（Ｐ２７、２８）　＜１課＞私は日本人です 13 小テスト、宿題チェック　＜１課＞私は日本人です 14 まとめ　＜１課＞宿題チェック／総復習 15 最終到達度確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	科目習熟度を測定する試験で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身に付ける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定１級に合格する
教科書	問題集、プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名・熟語 2 同音異義・異字同訓 3 誤字訂正、類義語・反対語 4 漢字の意味・使い方① 5 漢字の意味・使い方② 6 ことわざ・故事成語・慣用句 7 特殊な漢字の読み書き 8 項目別模擬試験① 9 項目別模擬試験② 10 項目別模擬試験③ 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	電卓の学習を通じ計算技能を養う、および一般教養に関する問題演習
授業の進め方	指定された範囲の問題を電卓にて計算、および一般教養問題集による演習
達成目標	電卓技能検定３・４級の合格、および一般教養知識の底上げ
教科書	検定対策テキスト・問題集、一般教養問題集
特記	
授業計画	1 電卓の基礎知識、または一般教養に関する問題演習 2 加減算・見取算練習、または一般教養に関する問題演習 3 乗除算練習・伝票算練習、または一般教養に関する問題演習 4 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習① 5 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習② 6 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習③ 7 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習④ 8 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習⑤ 9 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習⑥ 10 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習⑦ 11 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習⑧ 12 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習⑨ 13 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習⑩ 14 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習⑪ 15 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習⑫
成績評価方法 （試験実施方法）	電卓演習もしくは一般教養問題演習の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	電卓の学習を通じ計算技能を養う、および一般教養に関する問題演習
授業の進め方	指定された範囲の問題を電卓にて計算、および一般教養問題集による演習
達成目標	電卓技能検定１・２級の合格、および計算力の向上
教科書	検定対策テキストおよび問題集、一般教養問題集、適性試験問題集
特記	
授業計画	1 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習① 2 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習② 3 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習③ 4 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習④ 5 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習⑤ 6 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習⑥ 7 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習⑦ 8 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習⑧ 9 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習⑨ 10 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習⑩ 11 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習⑪ 12 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習⑫ 13 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習⑬ 14 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習⑭ 15 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	電卓演習および一般教養・計算問題演習の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	面接試験に向けての準備作業法を修得し、春試験２試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる
教科書	なし
特記	
授業計画	1 公官庁研究① 2 公官庁研究② 3 公官庁研究③ 4 エントリーシート作成① 5 エントリーシート作成② 6 エントリーシート作成③ 7 面接効果測定 8 模擬面接Ⅰ準備① 9 模擬面接Ⅰ① 10 模擬面接Ⅰ準備② 11 模擬面接Ⅰ② 12 模擬面接Ⅱ準備① 13 模擬面接Ⅱ① 14 模擬面接Ⅱ準備② 15 模擬面接Ⅱ②
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ｉ　数的推理
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と数的処理力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 方程式・不等式（方程式） 2 方程式・不等式（不定式、過不足算） 3 整数・計算パズル（約数と倍数、割り算の余り、整数の性質） 4 整数・計算パズル（数列、ｎ進法、その他、整数に関する問題） 5 割合と比（割合、比） 6 割合と比（売買算） 7 割合と比（濃度①） 8 割合と比（濃度②）、速さ（速さ） 9 速さ（旅人算） 10 速さ（通過算、流水算） 11 速さ（時計算）、仕事算（仕事算①、給排水算①） 12 仕事算（仕事算②、給排水算②、ニュートン算） 13 その他文章題（年齢算、平均算） 14 場合の数（場合の数、順列、重複組合せ、円順列） 15 確率（事象と確率、赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	上記のほか、基礎数学と方程式の予備講義１コマを実施

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅱ　判断推理
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論理（対偶と三段論法、ド・モルガンの法則、論理と集合） 2 集合の要素（ベン図、キャロル表、交わりの最小値） 3 順序（順序の確定、順序の変動） 4 順序（順序の数値条件、時計のずれ） 5 位置・方位（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて） 6 位置・方位（円卓・議長席・道をへだてて、方位・作図） 7 対応（対応関係、スケジュール表、対応の数値条件、やりとり） 8 勝敗（リーグ戦、トーナメント戦）・うそつき 9 暗号、推理・手順（他人の判断から判断する） 10 推理・手順（カードゲーム、石取りゲーム、てんびん、手順）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅲ　空間把握・資料解釈
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読み解く力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡）、道順・一筆書き・位相 2 平面構成（折り紙）、平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成） 3 正多面体（正多面体、展開図）、立体構成（サイコロ） 4 立体構成（積木の問題、投影図、立体の切断） 5 立体構成（回転体）、平面図形の計量（角度） 6 平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理） 7 平面図形の計量（相似比、面積比①） 8 平面図形の計量（面積比②、円） 9 平面図形の計量（扇形と移動図形）、立体図形の計量① 10 立体図形の計量② 11 資料解釈（実数、割合・指数・前年比） 12 資料解釈（増加率、いろいろな資料）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ｉ　政治
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、国家論 2 政治制度論 3 基本的人権総論、包括的基本権 4 自由権 5 社会権 6 国会の機構と運営 7 内閣の機構と運営 8 裁判所の機構と運営 9 地方自治 10 選挙制度
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ⅱ　経済
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	財政政策・外国為替などの経済分野と労働問題などの社会分野の基礎知識と本試験レベルの実践的知識までを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 経済社会の変容、現代の企業 2 現代の市場 3 国民所得 4 経済成長と景気循環 5 通貨制度と金融政策 6 財政制度と財政政策 7 貿易と外国為替 8 日本経済の動向 9 国際経済の動向 10 社会理論、労働問題 11 社会保障、環境問題 12 国際関係、現代の諸相
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ｉ　地理
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 世界の地形 2 世界の気候 3 世界の農業 4 世界の資源 5 世界の工業 6 地図の特色と利用 7 生活と地域 8 日本地誌 9 世界地誌（アジア、アフリカ） 10 世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ⅱ　歴史
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 大和政権と大化の改新 2 平安時代 3 鎌倉時代 4 室町時代 5 封建社会の確立 6 江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革） 7 江戸時代（幕末）、明治維新 8 立憲体制の確立 9 近代文化の発展 10 大正、昭和 11 中国史（殷～漢） 12 中国史（魏晋南北朝～隋、唐） 13 中国史（宋、元） 14 中国史（明、清） 15 中国史（清の崩壊、中華民国）
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践言語Ｉ　文理・国語
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 要旨把握、四字熟語① 2 要旨把握、四字熟語② 3 内容合致、ことわざ① 4 内容合致、ことわざ② 5 文章整除、文法基礎① 6 文章整除、文法基礎② 7 文章の穴埋め、敬語 8 科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅰ　数的処理
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身に付いた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 数的推理総合演習① 2 数的推理総合演習② 3 数的推理総合演習③ 4 科目試験① 5 判断推理総合演習① 6 判断推理総合演習② 7 判断推理総合演習③ 8 科目試験② 9 図形・資料解釈総合演習① 10 図形・資料解釈総合演習② 11 図形・資料解釈総合演習③ 12 科目試験③
成績評価方法 （試験実施方法）	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅱ　社会科学
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権 3 国会の機構と運営 4 内閣の機構と運営 5 裁判所の機構と運営 6 地方自治、選挙制度 7 科目試験① 8 現代の企業、現代の市場 9 国民所得 10 通貨制度と金融政策 11 財政制度と財政政策 12 貿易と外国為替 13 社会総合 14 科目試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅲ　人文科学
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	２４時間
授業コマ数	１２コマ
授業概要	地理・歴史・倫理の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集（第１講～第９講）・デジタルテキスト（第１０講～第１１講）
特記	
授業計画	1 日本史（中世、近世①） 2 日本史（近世②、近代①） 3 日本史（近代②、現代、通史） 4 地理（自然環境と地図） 5 地理（資源と産業、生活と地域） 6 地理（日本の地理） 7 地理（世界の地理） 8 世界史（東洋世界） 9 世界史（現代世界） 10 倫理（西洋思想） 11 倫理（東洋思想） 12 科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	４８時間
授業コマ数	２４コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	実戦的なレベルの模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 警察官タイプの模擬試験① 2 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験① 3 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験② 4 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験③ 5 海上保安学校タイプの模擬試験 6 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験④ 7 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑤ 8 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑥ 9 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑦ 10 国家公務員タイプの模擬試験① 11 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑧ 12 国家公務員タイプの模擬試験② 13 国家公務員タイプの模擬試験③ 14 国家公務員タイプの模擬試験④ 15 国家公務員タイプの模擬試験⑤ 16 消防官タイプの模擬試験 17 地方公務員タイプの模擬試験① 18 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑨ 19 警察官タイプの模擬試験② 20 選択式（地方公務員２タイプ・裁判所）模擬試験 21 刑務官タイプの模擬試験 22 警察官タイプの模擬試験③ 23 基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑩ 24 地方公務員タイプの模擬試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	第１回から第１５回までは模擬試験の取り組み姿勢、第１６回から第２４回までは模擬試験成績にて評価
備考	基礎的なレベルの模擬試験として、一部過去問を含む場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	１０８時間
授業コマ数	５４コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 2 実戦的なタイプの模擬試験①・当該模擬試験の解説・復習 3 4 実戦的なタイプの模擬試験②・当該模擬試験の解説・復習 5 6 実戦的なタイプの模擬試験③・当該模擬試験の解説・復習 7 8 実戦的なタイプの模擬試験④・当該模擬試験の解説・復習 9 10 実戦的なタイプの模擬試験⑤・当該模擬試験の解説・復習 11 12 実戦的なタイプの模擬試験⑥・当該模擬試験の解説・復習 13 14 国家公務員タイプの模擬試験①・当該模擬試験の解説・復習 15 16 実戦的なタイプの模擬試験⑦・当該模擬試験の解説・復習 17 18 実戦的なタイプの模擬試験⑧・当該模擬試験の解説・復習 19 20 地方公務員タイプの模擬試験①・当該模擬試験の解説・復習 21 22 地方公務員タイプの模擬試験②・当該模擬試験の解説・復習 23 24 地方公務員タイプの模擬試験③・当該模擬試験の解説・復習 25 26 国家公務員タイプの模擬試験②・当該模擬試験の解説・復習 27 28 地方公務員タイプの模擬試験④・当該模擬試験の解説・復習 29 30 国家公務員タイプの模擬試験③・当該模擬試験の解説・復習 31 32 国家公務員タイプの模擬試験④・当該模擬試験の解説・復習 33 34 国家公務員タイプの模擬試験⑤・当該模擬試験の解説・復習 35 36 地方公務員タイプの模擬試験⑤・当該模擬試験の解説・復習 37 38 地方公務員タイプの模擬試験⑥・当該模擬試験の解説・復習 39 40 実戦的なタイプの模擬試験⑨・当該模擬試験の解説・復習 41 42 警察官タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説・復習 43 44 実戦的なタイプの模擬試験⑩・当該模擬試験の解説・復習 45 46 地方公務員タイプの模擬試験⑦・当該模擬試験の解説・復習 47 48 地方公務員タイプの模擬試験⑧・当該模擬試験の解説・復習 49 50 地方公務員タイプの模擬試験⑨・当該模擬試験の解説・復習 51 52 地方公務員タイプの模擬試験⑩・当該模擬試験の解説・復習 53 54 地方公務員タイプの模擬試験⑪・当該模擬試験の解説・復習
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員時事対策
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	国内問題・国際問題問わず幅広いジャンルの社会時事を学ぶ
授業の進め方	１項目１５分程度で、重要な時事ワードを軸に内容を解説し、問題演習を行う
達成目標	現代社会の幅広い知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 時事（政治①） 2 時事（政治②） 3 時事（政治③） 4 時事（経済①） 5 時事（経済②） 6 時事（文化①） 7 時事（文化②） 8 時事（文化③） 9 時事（科学①） 10 時事（科学②） 11 時事（科学③） 12 時事（科学④） 13 時事（科学⑤） 14 時事（国際問題①） 15 時事（国際問題②）
成績評価方法 （試験実施方法）	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	適性試験の解き方を学び、１回１５分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験練習① 2 適性試験練習② 3 適性試験練習③ 4 適性試験練習④ 5 適性試験練習⑤ 6 適性試験練習⑥ 7 適性試験練習⑦ 8 適性試験練習⑧ 9 適性試験練習⑨ 10 適性試験練習⑩ 11 適性試験練習⑪ 12 適性試験練習⑫ 13 適性試験練習⑬ 14 適性試験練習⑭ 15 適性試験練習⑮ 16 適性試験練習⑯ 17 適性試験練習⑰ 18 適性試験練習⑱ 19 適性試験練習⑲ 20 適性試験練習⑳
成績評価方法 （試験実施方法）	練習課題における得点で評価
備考	適性試験練習には一部模擬試験タイプを含む

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身に付ける
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方 2 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習① 3 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習② 4 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習③ 5 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習④ 6 作文練習① 7 作文練習② 8 作文練習③ 9 作文練習④ 10 作文練習⑤ 11 作文練習⑥ 12 作文練習⑦ 13 作文練習⑧ 14 作文練習⑨ 15 作文練習⑩
成績評価方法 （試験実施方法）	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス文書作成
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのＷｏｒｄの操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	正しい日本語の使い方を理解し、ビジネス文書を作成出来るようになる
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 文字入力の基礎 2 ビジネス文書作成（案内文①） 3 ビジネス文書作成（案内文②） 4 ビジネス文書作成（送付状①） 5 ビジネス文書作成（送付状②） 6 ビジネス文書作成（社内文書①） 7 ビジネス文書作成（社内文書②） 8 ビジネス文書作成（表作成①） 9 ビジネス文書作成（表作成②） 10 ビジネス文書作成（文章と表の組み合わせ） 11 ビジネス文書作成（メール文章・メールの設定） 12 正しい日本語① 13 正しい日本語② 14 正しい日本語③ 15 正しい日本語④
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による課題の出来栄え、授業への参加姿勢で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、４試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	公務員ガイドブック、デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 公務員全般ガイダンス 2 公務員職種別ガイダンス 3 面接の基本 4 公務員試験研究 5 入退室の仕方、身嗜みチェック 6 面接効果測定（初級効果測定） 7 自己分析 8 面接質問項目（想定質問） 9 自己ＰＲ作成 10 受験先研究 11 志望動機作成 12 集団討論対策① 13 集団討論対策② 14 効果測定準備 15 面接効果測定（中級効果測定） 16 職種別試験ガイダンス① 17 職種別試験ガイダンス② 18 職種別試験ガイダンス③ 19 職種別試験ガイダンス④ 20 職種別試験ガイダンス⑤ 21 職種別試験ガイダンス⑥ 22 職種別試験ガイダンス⑦ 23 職種別試験ガイダンス⑧ 24 官庁研究① 25 官庁研究② 26 模擬面接準備（試験種Ⅰ①） 27 模擬面接準備（試験種Ⅰ②） 28 模擬面接（試験種Ⅰ①） 29 模擬面接（試験種Ⅰ②） 30 模擬面接（試験種Ⅰ③） 31 模擬面接準備（試験種Ⅱ①） 32 模擬面接準備（試験種Ⅱ②） 33 模擬面接（試験種Ⅱ①） 34 模擬面接（試験種Ⅱ②） 35 模擬面接（試験種Ⅱ③） 36 模擬面接準備（試験種Ⅲ①） 37 模擬面接準備（試験種Ⅲ②） 38 模擬面接（試験種Ⅲ①） 39 模擬面接（試験種Ⅲ②） 40 模擬面接（試験種Ⅲ③） 41 模擬面接準備（試験種Ⅳ①） 42 模擬面接準備（試験種Ⅳ②） 43 模擬面接（試験種Ⅳ①） 44 模擬面接（試験種Ⅳ②） 45 模擬面接（試験種Ⅳ③）
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定および授業への参加姿勢で評価
備考	授業実施順序は入替をすることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ
授業概要	８試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	なし
特記	

授業計画				
	1	模擬面接準備（試験種Ⅰ①）	31	職種別試験ガイダンス①
	2	模擬面接準備（試験種Ⅰ②）	32	職種別試験ガイダンス②
	3	模擬面接準備（試験種Ⅰ③）	33	職種別試験ガイダンス③
	4	模擬面接（試験種Ⅰ①）	34	職種別試験ガイダンス④
	5	模擬面接（試験種Ⅰ②）	35	職種別試験ガイダンス⑤
	6	模擬面接（試験種Ⅰ③）	36	職種別試験ガイダンス⑥
	7	模擬面接準備（試験種Ⅱ①）	37	職種別試験ガイダンス⑦
	8	模擬面接準備（試験種Ⅱ②）	38	職種別試験ガイダンス⑧
	9	模擬面接準備（試験種Ⅱ③）	39	官庁研究①
	10	模擬面接（試験種Ⅱ①）	40	官庁研究②
	11	模擬面接（試験種Ⅱ②）	41	模擬面接準備（試験種Ⅴ①）
	12	模擬面接（試験種Ⅱ③）	42	模擬面接準備（試験種Ⅴ②）
	13	模擬面接準備（試験種Ⅲ①）	43	模擬面接（試験種Ⅴ①）
	14	模擬面接準備（試験種Ⅲ②）	44	模擬面接（試験種Ⅴ②）
	15	模擬面接準備（試験種Ⅲ③）	45	模擬面接（試験種Ⅴ③）
	16	模擬面接（試験種Ⅲ①）	46	模擬面接準備（試験種Ⅵ①）
	17	模擬面接（試験種Ⅲ②）	47	模擬面接準備（試験種Ⅵ②）
	18	模擬面接（試験種Ⅲ③）	48	模擬面接（試験種Ⅵ①）
	19	模擬面接準備（試験種Ⅳ①）	49	模擬面接（試験種Ⅵ②）
	20	模擬面接準備（試験種Ⅳ②）	50	模擬面接（試験種Ⅵ③）
	21	模擬面接準備（試験種Ⅳ③）	51	模擬面接準備（試験種Ⅶ①）
	22	模擬面接（試験種Ⅳ①）	52	模擬面接準備（試験種Ⅶ②）
	23	模擬面接（試験種Ⅳ②）	53	模擬面接（試験種Ⅶ①）
	24	模擬面接（試験種Ⅳ③）	54	模擬面接（試験種Ⅶ②）
	25	集団討論準備①	55	模擬面接（試験種Ⅶ③）
	26	集団討論準備②	56	模擬面接準備（試験種Ⅷ①）
	27	集団討論準備③	57	模擬面接準備（試験種Ⅷ②）
	28	集団討論①	58	模擬面接（試験種Ⅷ①）
	29	集団討論②	59	模擬面接（試験種Ⅷ②）
	30	集団討論③	60	模擬面接（試験種Ⅷ③）

成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢で評価
備考	授業実施順序は入替をすることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員就職試験対策Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 適性検査練習① 2 適性検査練習② 3 適性検査練習③ 4 適性検査練習④ 5 適性検査練習⑤ 6 適性検査練習⑥ 7 適性検査練習⑦ 8 適性検査練習⑧ 9 適性検査練習⑨ 10 適性検査練習⑩ 11 適性検査練習⑪ 12 適性検査練習⑫ 13 適性検査練習⑬ 14 適性検査練習⑭ 15 適性検査練習⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	１回１５分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験練習① 2 適性試験練習② 3 適性試験練習③ 4 適性試験練習④ 5 適性試験練習⑤ 6 適性試験練習⑥ 7 適性試験練習⑦ 8 適性試験練習⑧ 9 適性試験練習⑨ 10 適性試験練習⑩ 11 適性試験練習⑪ 12 適性試験練習⑫ 13 適性試験練習⑬ 14 適性試験練習⑭ 15 適性試験練習⑮ 16 適性試験練習⑯ 17 適性試験練習⑰ 18 適性試験練習⑱ 19 模擬試験（適性試験①） 20 模擬試験（適性試験②） 21 模擬試験（適性試験③） 22 模擬試験（適性試験④） 23 模擬試験（適性試験⑤） 24 模擬試験（適性試験⑥） 25 模擬試験（適性試験⑦） 26 模擬試験（適性試験⑧） 27 模擬試験（適性試験⑨） 28 模擬試験（適性試験⑩） 29 模擬試験（適性試験⑪） 30 模擬試験（適性試験⑫）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅳ　数的総合
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	数的推理・判断推理の基礎知識を定着させ、応用問題も解答できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 方程式① 2 方程式② 3 整数・計算パズル① 4 整数・計算パズル② 5 割合と比① 6 割合と比② 7 速さ① 8 速さ② 9 仕事算 10 場合の数 11 確率 12 論理 13 集合の要素 14 順序① 15 順序② 16 位置・方位 17 対応 18 勝敗・うそつき 19 暗号、推理・手順 20 科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学Ⅰ　生物・地学
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 生体の構造 2 生体内の代謝 3 生殖と発生 4 遺伝と変異 5 刺激の受容と反応 6 内部環境の恒常性と調節 7 生物の集団 8 生物の進化と系統 9 地球の姿と動く大地 10 岩石 11 大気と海洋① 12 大気と海洋② 13 太陽系と宇宙の構造① 14 太陽系と宇宙の構造②、地球と人類
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学Ⅱ　物理・化学
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	２８時間
授業コマ数	１４コマ
授業概要	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は物質の仕組みや物質の変化を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な物理・化学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト（第１講～第７講）・デジタルテキスト（第８講～第１４講）
特記	
授業計画	1 運動の表現 2 力 3 運動方程式 4 エネルギー 5 運動量、熱 6 波動、原子 7 電気 8 物質の構造① 9 物質の構造② 10 物質の状態① 11 物質の状態② 12 物質の変化① 13 物質の変化② 14 無機化合物
成績評価方法 （試験実施方法）	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎自然科学Ｖ　理数科目総合
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	物理・化学の基礎知識を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 運動の表現 2 力 3 運動方程式、エネルギー 4 運動量、電気 5 波動 6 物質の構造１ 7 物質の構造２、物質の状態 8 物質の変化１ 9 物質の変化２ 10 無機化合物
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅳ　自然科学
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	１６時間
授業コマ数	８コマ
授業概要	自然科学分野の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識の定着
教科書	デジタルテキスト（第１講～第２講）、スタンダード問題集（第３講～第８講）
特記	
授業計画	1 数学基礎演習① 2 数学基礎演習② 3 生物総合演習 4 物理総合演習① 5 物理総合演習② 6 化学総合演習① 7 化学総合演習② 8 地学総合演習・科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	実践的な問題を含む模擬試験で正答率６割以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 過去問タイプの模擬試験① 2 過去問タイプの模擬試験② 3 過去問タイプの模擬試験①②復習 4 過去問タイプの模擬試験③ 5 過去問タイプの模擬試験④ 6 過去問タイプの模擬試験③④復習 7 過去問タイプの模擬試験⑤ 8 過去問タイプの模擬試験⑥ 9 過去問タイプの模擬試験⑤⑥復習 10 過去問タイプの模擬試験⑦ 11 過去問タイプの模擬試験⑧ 12 過去問タイプの模擬試験⑦⑧復習 13 過去問タイプの模擬試験⑨ 14 過去問タイプの模擬試験⑩ 15 過去問タイプの模擬試験⑨⑩復習 16 過去問タイプの模擬試験⑪ 17 過去問タイプの模擬試験⑫ 18 過去問タイプの模擬試験⑪⑫復習 19 過去問タイプの模擬試験⑬ 20 過去問タイプの模擬試験⑭ 21 過去問タイプの模擬試験⑬⑭復習 22 過去問タイプの模擬試験⑮ 23 過去問タイプの模擬試験⑯ 24 過去問タイプの模擬試験⑮⑯復習 25 過去問タイプの模擬試験⑰ 26 過去問タイプの模擬試験⑱ 27 過去問タイプの模擬試験⑰⑱復習 28 過去問タイプの模擬試験⑲ 29 過去問タイプの模擬試験⑳ 30 過去問タイプの模擬試験⑲⑳復習 31 過去問タイプの模擬試験㉑ 32 過去問タイプの模擬試験㉒ 33 過去問タイプの模擬試験㉑㉒復習 34 過去問タイプの模擬試験㉓ 35 過去問タイプの模擬試験㉔ 36 過去問タイプの模擬試験㉓㉔復習 37 過去問タイプの模擬試験㉕ 38 過去問タイプの模擬試験㉖ 39 過去問タイプの模擬試験㉕㉖復習 40 過去問タイプの模擬試験㉗ 41 過去問タイプの模擬試験㉘ 42 過去問タイプの模擬試験㉗㉘復習 43 過去問タイプの模擬試験㉙ 44 過去問タイプの模擬試験㉚ 45 過去問タイプの模擬試験㉙㉚復習
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	１０２時間
授業コマ数	５１コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 過去問タイプの模擬試験① 2 3 過去問タイプの模擬試験②・当該模擬試験の解説 4 5 過去問タイプの模擬試験③・当該模擬試験の解説 6 7 過去問タイプの模擬試験④・当該模擬試験の解説 8 9 過去問タイプの模擬試験⑤・当該模擬試験の解説 10 11 過去問タイプの模擬試験⑥・当該模擬試験の解説 12 13 過去問タイプの模擬試験⑦・当該模擬試験の解説 14 15 過去問タイプの模擬試験⑧・当該模擬試験の解説 16 17 過去問タイプの模擬試験⑨・当該模擬試験の解説 18 19 過去問タイプの模擬試験⑩・当該模擬試験の解説 20 21 過去問タイプの模擬試験⑪・当該模擬試験の解説 22 23 過去問タイプの模擬試験⑫・当該模擬試験の解説 24 25 過去問タイプの模擬試験⑬・当該模擬試験の解説 26 27 過去問タイプの模擬試験⑭・当該模擬試験の解説 28 29 過去問タイプの模擬試験⑮・当該模擬試験の解説 30 31 過去問タイプの模擬試験⑯・当該模擬試験の解説 32 33 過去問タイプの模擬試験⑰・当該模擬試験の解説 34 35 過去問タイプの模擬試験⑱・当該模擬試験の解説 36 37 過去問タイプの模擬試験⑲・当該模擬試験の解説 38 39 過去問タイプの模擬試験⑳・当該模擬試験の解説 40 41 過去問タイプの模擬試験㉑・当該模擬試験の解説 42 43 過去問タイプの模擬試験㉒・当該模擬試験の解説 44 45 過去問タイプの模擬試験㉓・当該模擬試験の解説 46 47 過去問タイプの模擬試験㉔・当該模擬試験の解説 48 49 過去問タイプの模擬試験㉕・当該模擬試験の解説 50 51 過去問タイプの模擬試験㉖・当該模擬試験の解説
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	２時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	総合的なレベルの模擬試験で正答率６割以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 総合的なレベルの模擬試験① 2 模擬試験①の解説 3 総合的なレベルの模擬試験② 4 模擬試験②の解説 5 総合的なレベルの模擬試験③ 6 模擬試験③の解説 7 総合的なレベルの模擬試験④ 8 模擬試験④の解説 9 総合的なレベルの模擬試験⑤ 10 模擬試験⑤の解説 11 総合的なレベルの模擬試験⑥ 12 模擬試験⑥の解説 13 総合的なレベルの模擬試験⑦ 14 模擬試験⑦の解説 15 総合的なレベルの模擬試験⑧
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	憲法
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 憲法総論 2 基本的人権総論 3 包括的基本権 4 法の下の平等 5 思想良心の自由、信教の自由① 6 信教の自由②、表現の自由① 7 表現の自由② 8 表現の自由③、学問の自由 9 職業選択の自由 10 財産権 11 人身の自由、社会権 12 社会権、参政権、受益権 13 国会 14 内閣、裁判所① 15 裁判所② 16 財政、地方自治、憲法改正、天皇、平和主義 17 総合演習① 18 総合演習② 19 総合演習③ 20 科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	民法
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	６８時間
授業コマ数	３４コマ
授業概要	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な民法の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 権利能力、意思能力と行為能力 2 無効・取消し 3 意思の不存在、瑕疵ある意思表示 4 代理権 5 代理行為、無権代理 6 無権代理と相続、表見代理 7 時効総説、時効の完成猶予・更新 8 取得時効、消滅時効、物権の効力 9 物権変動の一般理論、１７７条（対抗要件主義） 10 物権変動と登記の要否 11 即時取得制度、占有の効力 12 共有、地役権 13 担保物権総論、留置権 14 抵当権 15 復代理、質権 16 法定地上権、譲渡担保 17 債務不履行、債務不履行に基づく損害賠償 18 債権者代位権 19 詐害行為取消権（債権者取消権） 20 連帯債務、保証債務 21 債権譲渡 22 弁済、相殺 23 契約の効力（双務契約の特則）、契約の解除 24 売買① 25 売買② 26 賃貸借 27 不当利得 28 不法行為 29 婚姻、親子関係 30 相続、遺留分 31 弁済の提供、受領遅滞、解除の効果 32 贈与、請負、委任 33 総復習 34 科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政法
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３８時間
授業コマ数	１９コマ
授業概要	行政作用法、行政救済法および行政組織法について行政法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な行政法の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 行政法の一般的な法理論 2 行政法上の法律関係、行政行為の意義・分類 3 行政行為の効力・瑕疵 4 行政行為の裁量、行政行為の成立・消滅 5 行政行為の附款、行政強制 6 行政罰、行政調査 7 行政契約、行政計画、行政指導 8 行政立法、行政手続法① 9 行政手続法②、手続の瑕疵 10 行政機関情報公開法 11 行政救済法一般、行政不服審査法① 12 行政不服審査法② 13 行政事件訴訟法（取消訴訟①） 14 行政事件訴訟法（取消訴訟②） 15 行政事件訴訟法（その他抗告訴訟） 16 国家賠償法① 17 国家賠償法②、損失補償、国家補償の谷間の問題 18 行政組織法、地方自治法 19 科目試験
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員時事研究
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 情報収集と考察（テーマ①） 2 情報収集と考察（テーマ②） 3 情報収集と考察（テーマ③） 4 情報収集と考察（テーマ④） 5 情報収集と考察（テーマ⑤） 6 情報収集と考察（テーマ⑥） 7 情報収集と考察（テーマ⑦） 8 情報収集と考察（テーマ⑧） 9 情報収集と考察（テーマ⑨） 10 情報収集と考察（テーマ⑩） 11 情報収集と考察（テーマ⑪） 12 情報収集と考察（テーマ⑫） 13 情報収集と考察（テーマ⑬） 14 情報収集と考察（テーマ⑭） 15 情報収集と考察（テーマ⑮）
成績評価方法 （試験実施方法）	提出物の内容を評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実習
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技等の実習を行う
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う
教科書	なし
特記	一部実習につき、外部での実習を導入する場合がある
授業計画	1 公安職種の体力試験に関する研究 2 筋力トレーニング① 3 筋力トレーニング② 4 筋力トレーニング③ 5 筋力トレーニング④ 6 筋力トレーニング⑤ 7 筋力トレーニング⑥ 8 筋力トレーニング⑦ 9 集団演技① 10 集団演技② 11 集団演技③ 12 集団演技④ 13 集団演技⑤ 14 集団演技⑥ 15 集団演技⑦
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、出席状況によって評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	実務経験のある講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	元横浜消防教官鎌田氏および官公庁関係者による公務員職に関する研究
授業計画	1 消防職経験者講義（消防官に求められる資質） 2 消防職経験者講義（自助・共助・公助） 3 消防職経験者講義（消防と我が人生） 4 官公庁実務者講義① 5 官公庁実務者講義② 6 官公庁実務者講義③ 7 官公庁実務者講義④ 8 研究レポート
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	官公庁（国家省庁等）から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	実務経験者（国家省庁等）による講義を受け、各自研究課題を作成する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	実務経験者（国家省庁）による講義を基にした演習
授業計画	1 官庁訪問の仕組み 2 省庁の仕事内容 3 官公庁講義① 4 官公庁講義② 5 官公庁講義③ 6 研究レポートの作成① 7 研究レポートの作成② 8 レポートの検証
成績評価方法 （試験実施方法）	研究レポートの完成度によって評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	地方行政に関する講義を行い、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	講義後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	地方公務員職員を招聘し、講義を行う場合がある
授業計画	1 地方行政に関する講義 2 個人研究 3 グループワークまたは個人研究① 4 グループワークまたは個人研究② 5 グループワークまたは個人研究③ 6 グループワークまたは個人研究④ 7 地方行政に関する講義（プレゼンテーション・総評） 8 振り返り
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ｖ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	警察または消防に関する講義（または演習・実習）を行い、その講義（演習・実習）から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	講義（演習・実習）後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	警察職関係者または消防職関係者を招聘し、講義・演習・実習を行う場合がある
授業計画	1 警察職・消防職における講義（または演習・実習①） 2 レポート作成① 3 レポート作成② 4 レポート作成③ 5 警察職・消防職における講義（または演習・実習②） 6 レポート作成① 7 レポート作成② 8 レポート作成③
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公官庁講話
実務家教員	○
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める
授業の進め方	現役公務員の話を聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する
教科書	なし
特記	
授業計画	1 職種別ガイダンス① 2 職種別ガイダンス② 3 職種別ガイダンス③ 4 職種別ガイダンス④ 5 職種別ガイダンス⑤ 6 職種別ガイダンス⑥ 7 職種別ガイダンス⑦ 8 職種別ガイダンス⑧ 9 職種別ガイダンス⑨ 10 職種別ガイダンス⑩
成績評価方法 （試験実施方法）	提出物の完成度・提出回数によって評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員倫理
実務家教員	○
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	１５時間
授業コマ数	８コマ　※８コマ目のみ６０分
授業概要	公務人材開発協会より講師をお招きし、公務員に関する法令や服務規程を学ぶ
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 税制の理解① 2 税制の理解② 3 税制の理解③ 4 税制に関するレポート作成 5 公務員の倫理と服務規程① 6 公務員の倫理と服務規程② 7 公務員の倫理と服務規程③ 8 服務規程に関するレポート作成
成績評価方法 （試験実施方法）	提出レポートの完成度によって評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ボランティアの基礎知識 2 自治体とボランティア 3 ボランティア実体験① 4 ボランティア実体験② 5 ボランティア実体験③ 6 ボランティア実体験④ 7 ボランティア実体験⑤ 8 ボランティア実体験⑥ 9 ボランティア実体験⑦ 10 ボランティア実体験⑧ 11 ボランティア実体験⑨ 12 ボランティア実体験⑩ 13 ボランティア実体験⑪ 14 ボランティア実体験⑫ 15 ボランティアレポート
成績評価方法 （試験実施方法）	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける
教科書	なし
特記	
授業計画	1 ボランティアの基礎知識 2 自治体とボランティア 3 ボランティア実体験① 4 ボランティア実体験② 5 ボランティア実体験③ 6 ボランティア実体験④ 7 ボランティア実体験⑤ 8 ボランティア実体験⑥ 9 ボランティア実体験⑦ 10 ボランティア実体験⑧ 11 ボランティア実体験⑨ 12 ボランティア実体験⑩ 13 ボランティア実体験⑪ 14 ボランティア実体験⑫ 15 ボランティアレポート
成績評価方法 （試験実施方法）	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ビジネスマナーの基礎知識 2 身だしなみと立ち居振る舞い 3 敬語とビジネス用語 4 応接・接遇のマナー 5 電話応対基礎編（講義） 6 電話応対基礎編（練習） 7 電話応対基礎編（実践練習） 8 電話応対応用編（講義） 9 電話応対応用編（練習） 10 電話応対応用編（実践練習） 11 伝言を含む電話応対（講義①） 12 伝言を含む電話応対（練習①） 13 伝言を含む電話応対（講義②） 14 伝言を含む電話応対（練習②） 15 伝言を含む電話応対（実践練習①） 16 伝言を含む電話応対（実践練習②） 17 効果測定準備 18 電話応対効果測定 19 冠婚葬祭のマナー 20 郵便のマナー 21 電話での道案内 22 クレーム対応 23 ビジネスマナー実務① 24 ビジネスマナー実務② 25 ビジネスマナー実務③ 26 ビジネスマナー実務④ 27 ビジネスマナー実務⑤ 28 ビジネスマナー総合① 29 ビジネスマナー総合② 30 ビジネスマナー総合③
成績評価方法 （試験実施方法）	筆記試験および効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのＷｏｒｄとＥｘｃｅｌ等の操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのＰＣスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 パソコンの基本操作① 2 パソコンの基本操作② 3 パソコンの基本操作③ 4 パソコンの基本操作④ 5 パソコンの基本操作⑤ 6 パソコンの基本操作⑥ 7 ＯＳ／Ｏｆｆｉｃｅの基本（座学） 8 Ｗｏｒｄの基本操作① 9 Ｗｏｒｄの基本操作② 10 Ｗｏｒｄの基本操作③ 11 Ｗｏｒｄ効果測定 12 Ｅｘｃｅｌ基本操作① 13 Ｅｘｃｅｌ基本操作② 14 Ｅｘｃｅｌ基本操作③ 15 Ｅｘｃｅｌ効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	○
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題について研究し、研究レポートを作成する
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による弁護士としての実践的知識を基にした講義と実習
授業計画	1 法律概論 2 民法（講義）① 3 民法課題研究① 4 民法（講義）② 5 民法課題研究② 6 憲法（講義）① 7 憲法（講義）② 8 憲法課題研究 9 行政法（講義）① 10 行政法（講義）② 11 行政法課題研究 12 刑法（講義）① 13 刑法課題研究① 14 刑法（講義）② 15 刑法課題研究②
成績評価方法 （試験実施方法）	研究成果をまとめたレポートの内容で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政研究
実務家教員	○
学部・学科	スポーツテクニカル学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	防衛省自衛隊による講義を基にした演習
授業計画	1 災害対策の枠組み（講義） 2 課題研究① 3 課題研究② 4 課題研究③ 5 課題研究④ 6 課題研究⑤ 7 課題研究⑥ 8 課題研究⑦ 9 研究発表シナリオ作成① 10 研究発表シナリオ作成② 11 模擬プレゼンテーション準備 12 模擬プレゼンテーション 13 研究発表準備① 14 研究発表準備② 15 研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 （試験実施方法）	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	